

洞爺湖ビジターセンター・火山科学館 自然ふれあい通信

洞爺湖ビジターセンター・火山科学館「自然ふれあい行事」のご報告です。

2016年5月28日(土)開催
『春の中島散策』



セミの抜け殻発見！

洞爺湖汽船さんの協力のもと、五月の自然ふれあい行事を開催しました。晴天に恵まれ、ビジターセンターで簡単に洞爺湖の成り立ちを説明した後船に乗りに出発！小学校二年生と五年生、その親御さんという構成だったので、まずは自己紹介から始まりました。

船に乗ると、日頃乗らない遊覧船に大はしゃぎの子どもたち。子ども同士ですぐに打ち解けていました。

そうこうしているうちに、あつという間に中島到着。上陸するとコブハクチョウがお出迎えしてくれました。

さて、中島にはある環境問題がおきています。エゾシカ問題です。増えすぎたエゾシカが植物生態系を壊しているという現状があります。

中島にはもともと、エゾシカがいませんでした。そこに雌雄合わせて三頭のエゾシカが持ち込まれ、一時は三百頭を超える数にまで増えました。その結果、植生が破壊されただけでなく、エゾシカ自身も飢餓に苦しむ結果となりました。

現在は中島のキャパシティを五十頭と推定して頭数制限を行っています。

この頭数制限も始まったところなため、現在でも歪な植生が残っています。島内は、背の高い木か、シカがキライだったリ毒になる成分がある草ばかりが残っています。

行事でもフッキソウやヤマシヤクヤクなどシカが食べない植



森の中をがんばって歩きます



湖畔で休憩！

物をたくさん見ることができました。また、行事ではエゾハルゼミの抜け殻をたくさん見つけることができました。このセミの抜け殻がしで楽しみながら、ぐるりと中島を一周しました。

花をつけている植物やセミの抜け殻から春から初夏に向かう季節を楽しむ行事となりました。

シカ問題は日本全国で起きています。このままシカ問題を放置するとどうなるのか……。中島はその一つの姿を示しています。

純粹に景色を楽しむのもオススメの場所です。お時間のある人はぜひ、足をのばしてみてください。